

パーパス・ミッション 明確化シート

 Money Forward クラウド

※チェックリストに従うことで、法令違反がないことを保証する資料ではありません。
※あくまで参考としてご利用いただくことを想定している資料です。実際の制度内容は国の資料等をご確認ください。
※当資料は、2025年5月時点の内容となっております。最新の情報はの資料等をご確認ください。

パーパスとミッション、ビジョン、バリューとの違い

企業の存在意義そのものである「パーパス」は、その企業が社会において「なぜ存在するのか」、そして「何を目指すのか」という根本的な問いへの答えを示すものです。単に利益を追求するだけでなく、社会全体への貢献を重視する考え方が根底にあり、企業活動の最も大きな指針となります。ミッション、ビジョン、バリューはパーパスを頂点とする階層構造にあり、以下のように役割が異なります。

概念	説明	特徴
パーパス	企業の社会的な存在意義、志	最も上位の概念。社会貢献への意識が強い。
ミッション	企業がパーパスを実現するために果たすべき具体的な使命、日々成し遂げるべきこと。	パーパスを実現するための「行動」。
ビジョン	ミッションを達成した先に企業が実現したい具体的な未来像、組織としてのなりたい姿。	パーパスに基づいた「目標」。
バリュー	パーパスやミッション、ビジョンを達成するために、従業員一人ひとりが持つべき共通の価値観や行動指針。	日々の「判断基準」。

パーパスやミッションを定めるには？

パーパス（企業の存在意義）とミッション（使命・行動指針）を定めるには、まず自社の核心を深く掘り下げます。「独自の強みは何か？大切にしてきた価値観や歴史は？(Can)」を明確にしましょう。次に、社会や顧客が抱える課題や未来への期待を「世の中から何を求められているか？(Must)」と洞察します。

これらと「自社が真に情熱を注ぎ、心から実現したいことは何か？(Will)」を照らし合わせます。この3つの要素(Can, Must, Will)が重なる領域に、企業ならではのパーパス（社会的存在意義）が見出されます。これを社会への約束として、共感を呼ぶ簡潔な言葉で表現します。

そのパーパスを実現するために、「具体的に何を行うのか」「どの貢献していくのか」を明確に定義したものがミッションとなります。

ミッションを定める際は、パーパスを達成するための「行動計画」だと捉えます。何を優先し、どのような事業や活動に注力するのか、達成すべき主要な目標は何かを明確に示します。例えば、「いつまでに、どの市場・顧客に対し、どのような製品・サービスや活動を通じて、どのような価値を提供し、結果として何を実現するのか」といった要素を具体的に盛り込むことで、組織が向かうべき具体的な道筋を従業員一人ひとりが理解し、行動に移しやすくなります。

